



あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。
第 156 号 2020 年 7 月 10 日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行

1 月号
2020



表紙絵：「やまと国際フレンドクラブ」主催の
やまと国際アートフェスタ 入賞作品を掲載しています。

今回のテーマは “2030 年の世界とわたし”

(株)浜屋百貨店賞 受賞

題名 「国旗を持っている自分」
山田ヘイス潤マテウスさん
南林間小 2 年 (ブラジル)

山田ヘイス潤マテウスさん
からの < メッセージ >

世界の人達が今コロナウイルスでたいへんだけ
この絵を見て元気になってほしいと思います。

ぼくは、手あらい、うがいをがんばります。

お待たせしました！7月1日（水）より
大和市民活動センターは再開しました



「3密を避ける」
この環境をのりこえて、
活発な市民活動ができます様に！

★一部「制限」を設けます。

多目的ルーム定員 3 名まで 印刷 (丁合) 4 名まで
会議室 1 定員 7 名まで 食事の禁止 (水分補給は可)
会議室 2 定員 11 名まで

★会議室使用時、必ず行ってください！

- ・「利用者名簿」(記入後、各団体で 1 カ月程度保管)
- ・「施設利用報告書」提出 (確認・チェック項目)
換気の徹底 (1 時間単位で窓を開けて下さい)
体温記録 (体調不良や 37.5 度以上の人には控えて下さい)
入室前の手指消毒、使用後の机椅子等の消毒

新型コロナウイルス禍

登録団体の活動の今を調査しました Part2

大和映像サロン

会長 土屋翁三

私達のクラブは、アマチュアビデオ愛好家グループで、毎月 2 回例会を行っております。コロナウイルスのため、市内全ての会場が閉鎖となりました。外出自粛が続く中、4 月に入り「伝言板」と称して会員の消息を交流する事を考えました。

会員から自作映像をファイル便で事務局に送って頂き、作品内容を伝言板に掲載と同時に作品を YouTube に限定アップし、その URL をメールに掲載し全会員へ送付、会員は鑑賞後、感想文を寄稿、次号の「伝言板」に掲載する一種の NE 例会です。

当初は 4 月だけと考えていましたが、会館閉鎖が 6 月末までとなり、月 2 回の定期的な発行を考えました。この「伝言板」を利用して新会員が知らない 20 年前の公開上映会作品の中から優秀作品 5 年分 (5 作品) を「往年の名作新型コロナ V で観る」として 4 月例会版で 1998 年～2002 年分 5 本、5 月例会版で 2003 年～2007 年分

(5 本) の名作を YouTube にアップしました。作者が既に他界されている方ものも有りましたが、会員には良い勉強になったと思います。YouTube にアップした作品は複数回鑑賞でき、会員からは、企画は良かったと評価されています。自粛生活で運動不足に役立つのではないかと 2017 年 8 月に市社協から依頼されて撮影制作した「介護予防体操」の中から「座って編」をアップし、会員の健康増進の一助にと掲載しました。(この映像は=介護予防体操桜ヶ丘中央病院=で検索公開しています) 私共は毎年秋に「大和映像まつり」と称して一般公開の上映会を開催しておりますが、今年は残念ながらこの様な状況で開催を見送ることにしました。一日も早く従来の健康都市大和になりますこと願っています。



登録団体 2019 年度 活動のふりかえり

2019 年度を振り返って、感じたこと、思ったこと、今後につなげたいこと等をお聞きしました

よみよみの会

<子ども達に絵本の世界を伝える>



スマホ・ゲーム等が台頭し、影が薄くなりつつある読書の世界だからこそ、“おはなし”的大切さを感じている。
絵本に限らず、大人も子どもも、もっと本の楽しさを知ってほしい!
そして“ことば”的大きさ重さを心の中に入れてほしい!

やまと国際フレンドクラブ

<多文化共生、国際理解、国際交流を目的とする市民レベルの草の根の交流>



2019 年度は、「この指とまれ」の支援を受け、例年通り、多くのボランティアを迎える「学べる」を開催することが

できた。外国にルーツを持つ子どもたちと学生との交流も生まれ、とてもよい学びの場とすることができた。10 月にシリウスギャラリーで開催した「やまと国際アートフェスタ」にもたくさんの絵の応募があり、盛大に開催することができると共に、今年も「あの手この手」の表紙に絵を載せていただき、学校からも子どもからも好評だった。新型コロナの影響で、「やまとインターナショナルフェスタ」の開催が中止になったのが非常に残念だった。この他、「だべ～る」「スピーチ大会」は予定通り開催でき好評だったので、この活動の成果を次年度に繋げていきたい。

音フェスタ実行委員会

<多くの方々に芸術の鑑賞の機会を提供するとともに自主的な活動を支援するなど芸術文化活動を推進し、心豊かな地域づくりを目指す。>

市民活動に参加することは感動や生きる喜びをもたらして人生を豊かにするものであると同時に、地域社会を活性化する大きな力となるものであり、その果たす役割は極めて重要だと思います。

できるだけ多くの人々に活動体験の場を提供したいと考えています。



教科書ネット大和

<大和の教育について考え、意見を発信する。主に児童、生徒により良い教科書について学び、意見を発信する。>

2020 年度使用小学校教科書については教科書展示会や採択教育委員会傍聴に、多くの保護者・市民が参加した。教育委員会の皆さんの努力のおかげでもあるが、私たちの会の取組みの成果でもあると総括した。

今年度は中学校教科書採択の年であり、昨年を上回る保護者・市民の声を教育委員会へ届けて行けるよう活動して行きたい。



TSUBASA インタビュー 「大和シルフィード」

高みを目指し 地域を振興

女子サッカークラブのコロナ対応

2011年女子ワールドカップの優勝を機に、川澄選手や上尾野辺選手の出身チーム「大和シルフィード」は全国から注目を集めました。「NPO法人 大和シルフィード・スポーツクラブ」は女子サッカーチームやサポータークラブの運営、大会の開催やグッズの販売を行なながら、地域スポーツの普及に取り組んでいます。大和市民活動センターは、事務局の橋本紀代子さんにインタビューの機会をいただき、新型コロナウイルスへ講じた対策や、「ウィズコロナ」時代に向けた展望について伺いました。

1- 大和シルフィードのサッカーチームには「トップ」「U-18」「U-15」があるのですね

大和シルフィードは、なでしこを目指す「トップ」の選手を軸に、アカデミーである「U-18」「U-15」のチームの育成を、地域への還元として行っています。トップチームの練習は週に5、6回で、平日夜には「大和ゆとりの森」のグラウンド、土日には外部のチームのホームグラウンドへ練習試合を行なっています。トップの選手は昼間に仕事をしているので、身体的にもメンタル的にもハードですね。

アカデミーのチームは多くて週に5回の練習で、平日の活動場所もゆとりの森の他に、地域の小中学校のナイター設備を使わせていただいて練習しています。

トップのチームには専任の監督やコーチが、アカデミーのチームにはシルフィードの社員とボランティアのコーチがついて、練習をサポートしています。

4- トップ・U-18・U-15 のゴールキーパー(GK)の選手が、リモート交流会を行った、というブログを読みました

「Zoom 折角できるからやってみようか」という話になりました、以前も不定期で行っていたトップ・U-18・U-15のGK選手たちの交流会をオンラインで行いました。アカデミーの選手からトップのコーチまで参加しました。

アカデミーの子たちにはいい刺激になったのではないかと思います。逆にトップの選手も「見られているから、もっと頑張れる」と話していく、相乗効果があつたと感じています。



GK選手のリモート交流会。「トップ」「U-18」「U-15」のGK選手とコーチがZoomで交流会を行った。

2- 大和シルフィードの事業は、企業のスポンサーとサポータークラブに支えられていますとお聞きしました

ホームページの告知や、市内の営業でスポンサーを募っています。既にスポンサーである企業からの紹介や、試合の観戦を通して、声をかけてくださる企業様も市内では多いです。

サポータークラブのように、年会費を払っていただいて、グッズの割引などの特典がついてくる方法もあり、事業の収入として大和シルフィードの活動に当てています。

3- 新型コロナウイルスは、サッカーチームの練習にどのように影響しましたか

サッカー協会の方針により、大和シルフィードは4月～5月の2ヶ月は、全ての活動を休止していました。活動の再開は5月末からで、チームの練習はグループトレーニングから行いました。

選手はいくつかのグループで少人数に分かれ、フットサルコートで練習。感染

5- スポンサー事業とサポータークラブ運営への、新型コロナの影響は

4、5月の活動休止の前に、企業のスポンサーは既に契約が済んでいました。ですが、活動休止と更新PRの期間が重なったサポータークラブについては、新しく募ることが難しかったです。サポーターの方々からも「来季はどうなるのか」との不安の声も受け取りました。

ですので、現在は2020シーズン新規の募集、今いるサポーターさんへの対応を急速に進めています。

6- 大和シルフィードの今後の展望について教えてください

コロナの影響で社会がどう進むのかは予測が難しいので、感染症予防の徹底を大前提として、今できることをコツコツ行なっていくしかないと考えています。

トップチームはクラブの顔として上を見つつ、進んでいく役割ですので、サッカーをしっかりやる。選手たちのホームゲームが、無観客やオンラインであっても、試合をしっかりこなしていくところを大事にしていきたいですね。結果は全てではないけれども、競技としてレベルを落とさずに勝っていくというのが1



橋本紀代子さん
事務局員として「NPO法人 大和シルフィード・スポーツクラブ」の活動を支えています。

症対策のため、選手同士の接触プレーは避け、対面パスから再開しました。熱中症も予防しなければならず、マスクを着用しての練習は難しかったです。

普段でしたら、ファンサービスもあつたりするのですが、(6月25日)現在も非公開で行っています。また、監督からの動画を使った各自の練習も行いました。



3月の練習試合の様子。チームプレーとして重要なハイタッチなども制限されることになった。

つあります。
その姿を見てこの地域の大和市であつたり、応援してくださる方々に元気を与えられれば、とてもいいことです、さらに応援していただける近道ではないかと思います。

U-18、U15、サッカースクールやスポーツスクールでも、感染対策は徹底した上で活動をしていきたいと思っています。貴重な学生時代の活動期間がコロナにより削られてしまっていますので、できる限りの良いサポートと活動をしていきたいと考えております。

(サポーター 尾畠翼)



トップ選手と一緒に盛り上がるサポータークラブの方々。橋本さんはチームの活動を通して地域に元気を与えていきたいとお話しした。



2020年度 福祉助成 (Web申請のみ)

障がい者が抱える課題に対して直接的な働きかけが出来る物品や取り組みに対して、積極的に助成をしていきます。

対象(1)：障がい者の生活支援や就労支援の環境改善に資する物品

…施設利用者に対するサービスの向上に必要な物品

対象(2)：障がい者の福祉向上に資する取り組み

(2)-A 利用者に対するプログラムの拡大

(2)-B 地域共生型プログラムの実施

…施設利用者の別を問わない、地域に開かれた福祉プログラムの実施

(2)-C 調査・研究

…障がい者の福祉向上に資する調査・研究



締切：7月31日（金）17時まで登録完了してください。

主催：公益財団法人前川報恩会

HP: https://www.mayekawa.org/grant/welfare_grant/welfare_youkou_2020.html

2020年度 助成募集

趣旨

小林製薬株式会社は、人と社会に素晴らしい「快」を提供する、という経営理念に基づき、“あったらいいな”をカタチにする、をスローガンに事業活動を行なっています。

公益財団法人小林製薬青い鳥財団では、引き続き、障がいや病気を抱える子ども達とそのご家族にとって“あったらいいな”をカタチにしようとされている個人又は団体に対して助成支援を行なっています。

助成対象

障がい・病気に悩む子ども達とその家族が抱えている様々な医療・福祉上の支援活動及び調査研究で、日本国内において行われるもの



締切：7月31日（金）必着

主催：公益財団法人 小林製薬青い鳥財団
HP: <https://www.kobayashi-foundation.or.jp/assist/index.html>

2020年度 地域振興助成 (Web申請のみ)

助成対象

① 多世代が参与し、高齢層から若年層への伝承が含まれる天然資源及び文化的資産の保全・活用を通じ、当該地域のコミュニティの発展に寄与する継続的事業

例)・地場の自然保護活動、周辺地域の活性化活動・学校法人が課外活動として行う地域交流活動
・地域調査活動(域学連携)・地域循環圏の活用、広域連携活動など



② 地域に根ざした未利用エネルギーの有効活用、もしくは農と食のイノベーションと地域力アップに繋がる事業

例)・農村部に於いて再生可能なエネルギー資源活用を図り、地域プロジェクトとして新しい農業と地産食料加工の取り組み・地域のイベントを通じた食と地域振興を結び付けたプロジェクト・SDGs(持続可能な開発目標)への取り組み

締切：8月31日（月）17時までに登録完了してください。

主催：公益財団法人前川報恩会

HP: https://www.mayekawa.org/grant/regional_improvement/regional_youkou_2020.html

スタッフのつぶやき



蒸し暑い毎日。センター脇の駐輪場から銀行に行こうとしたら…見事な大型のアゲハチョウが舞つて…と思ったら 2.5cm間の鉄格子に突っ込んで下水に。「何て奇妙な行動だろう?」と長い棒で救おうとしたが今度はマス目が邪魔で駄目。重い鉄格子を押し上げて汗びっしょり。自転車ハンドルを握ってから「ア!殺菌消毒わされた!」望月

自肃生活で続けたことは①ワールドニュースを見ること。コロナの話題がほとんどで、繰り返される単語はいつも同じ。語彙が増えた!?②映画を観る。いいも悪いも數で勝負。時々字幕と違うとニヤリとする。③デブショウの私は結局、ウォーキングは続かなかった! 関根

久々に花を撮りに大船フラワーセンターに行きました。ただタイミングが悪かったのか、睡蓮は細々と開いており閉じている方が多く、バラはもう時期が遅くほとんどが枯れ始めいい写真が撮れず、良いのが撮れたのが温室の中の写真。気温30度でさらに温室、めちゃくちゃ暑い! 皆さん熱中症には気をつけてください。吉浜

早や7月、2020年も後半に入った。前半は今までに無い状況で、戸惑いの連続だったが、後半になつてもまだまだ落ち着ける状況ではない。そんな中、今年は庭のアジサイがたくさん花をつけてくれた。柏葉アジサイやヤマアジサイも。 櫻井

古本の魅力は、新品と同じ値段で多くの本を買える安さにあると思う。古本屋やネットで心惹かれた本を、試し読み感覚で買うことができる。本棚が自身の興味でどんどん埋まるのは嬉しいけれど、それを読まなきゃ意味ないよね。 尾畠

小さなベランダ菜園を始めました。鈴なりに育ったプチトマトを期待と共にひとつ口に入れてみるとびっくりするほど美味しい。種の問題? 土に原因? やっぱり育て方? 美味しい野菜を作るには知恵と努力と愛情が必要なのでしょう…まだまだです。 辺見

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第156号 発行日：2020年7月10日

大和市民活動センター <開館日 月～土 9:00～18:00>
<休館日 12月29日～1月3日・毎月第3月曜日>
〒242-0018 大和市深見西1-2-17

発行：大和市民活動センター 拠点やまと

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
e-mail:yamato@ar.wakwak.com
<http://www.kyodounokyonen.com/>